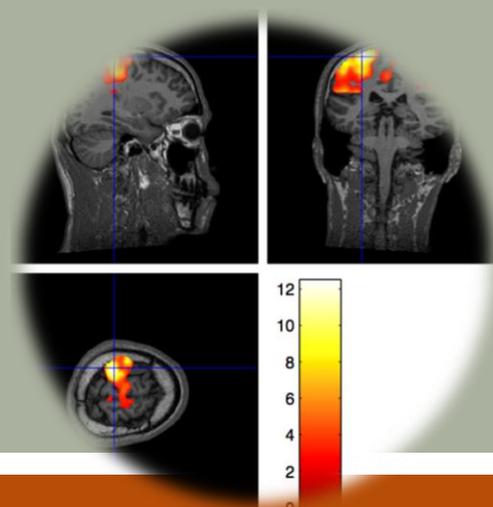


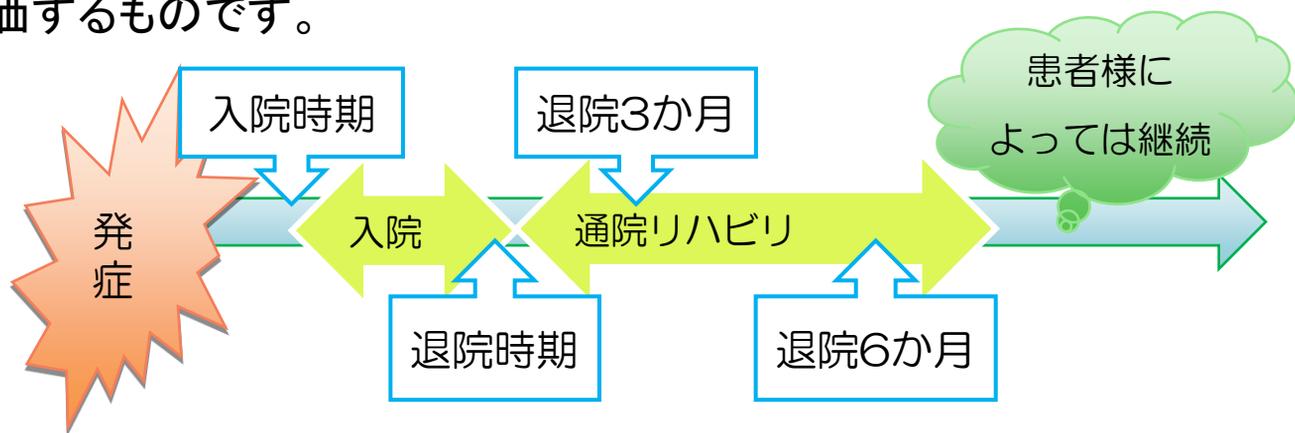


リハビリテーションデータベース 作成研究 概要とご協力をお願い

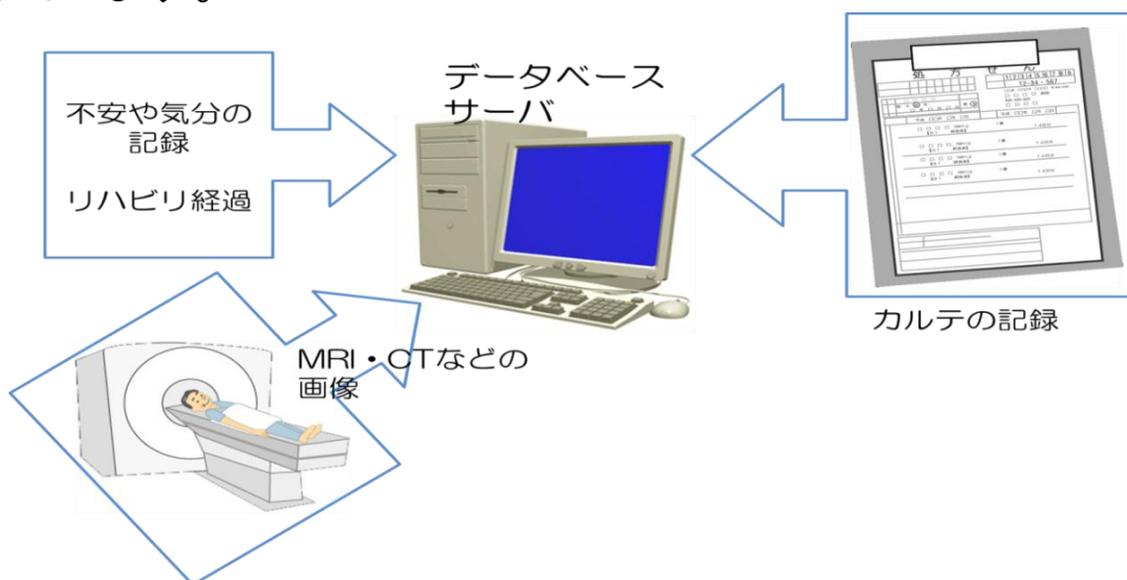


リハビリデータベース 作成研究のご案内

◆東京湾岸リハビリテーション病院では、国際電気通信基礎技術研究所(ATR)脳情報研究所と共同で、患者様のリハビリテーションのデータベース(研究用の記録集)作成を行っています。これは、入院時、退院時、その後外来通院時に数回、患者様の状態を評価するものです。



◆このデータベースでは、脳の画像(MRIなど)を定期的に撮影し、脳活動を記録します。これにより、患者様の脳の回復度に合わせた、脳に働きかけるニューロリハビリテーションの確立を目指しています。



1. 本研究への参加について

◆ご参加いただけるのは、右の参加条件を満たす方のうち、主治医とデータベース担当医師が参加に適していると判断した方です。

☆ 参加条件 ☆

- ◆初めての脳梗塞であること
- ◆食事が食べられること

◆応募するかどうかすぐに決めていただくなくてもかまいません。

◆本研究への参加は、患者様の自由な意思に基づくものであり、参加されたくない場合は、データ登録を拒否していただくことができます。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者様が不利益を被ることは一切ございません。

◆後日に詳しい話をお聞きになりたい方は、院内売店・自動販売機付近に設置してあります投書箱に別紙の「研究調査の説明申込書」を投入してください。

☆患者様のメリット☆

- ◆定期的に脳の画像(通常の臨床で用いるより詳細な構造や機能がわかるMRIなど)撮影や脳の活動状態を計測します
- ◆ご希望により結果について医師と相談可能です
- ◆入院期間中、主治医のほかにデータベース担当医師が患者様のサポートを行います

2. データ登録の目的

◆患者様に良い医療・リハビリテーションを提供するうえでは、その現状を把握することは重要です。本研究では、体系的に登録された情報に基づいて、医療・リハビリテーションの質改善に向けた検討を継続的に行います。

◆国内外にも脳卒中患者様の回復過程を記したデータベースはありますが、脳機能・脳活動の記録を定期的にとって、ニューロリハビリテーションを目的とするのは世界最先端の試みです。



3. 登録される情報の内容

◆登録される情報は、日常の診療記録や、リハビリの経過、脳構造や脳機能・脳活動の記録、回復過程の患者様の気分の記録等となります。

◆これらの情報はそれ自体で患者様個人を特定することはできませんが、患者様に関わる重要な情報ですので、関連する法令や、当院の倫理規準を順守し、厳重に管理いたします。

◆登録されたご自身のデータをご覧になりたい場合は、データベース担当医師あるいは担当研究員にお問い合わせください。

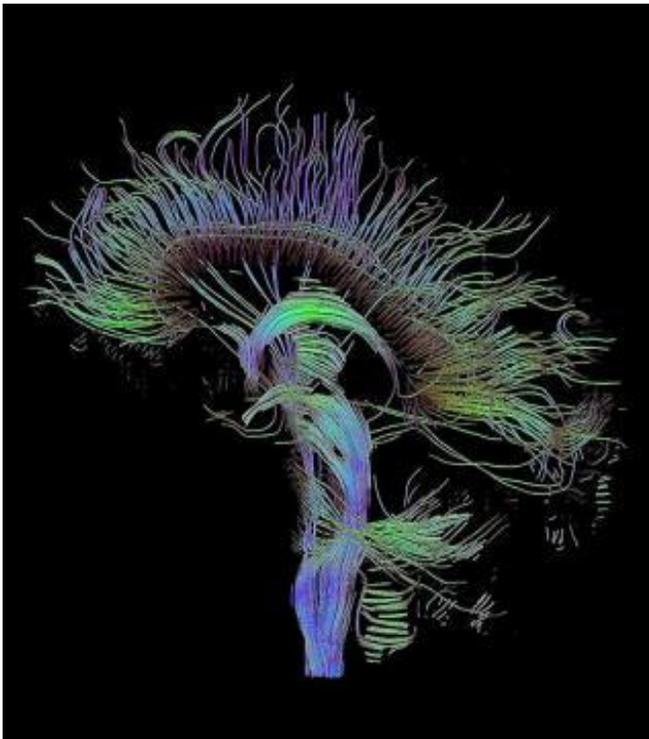
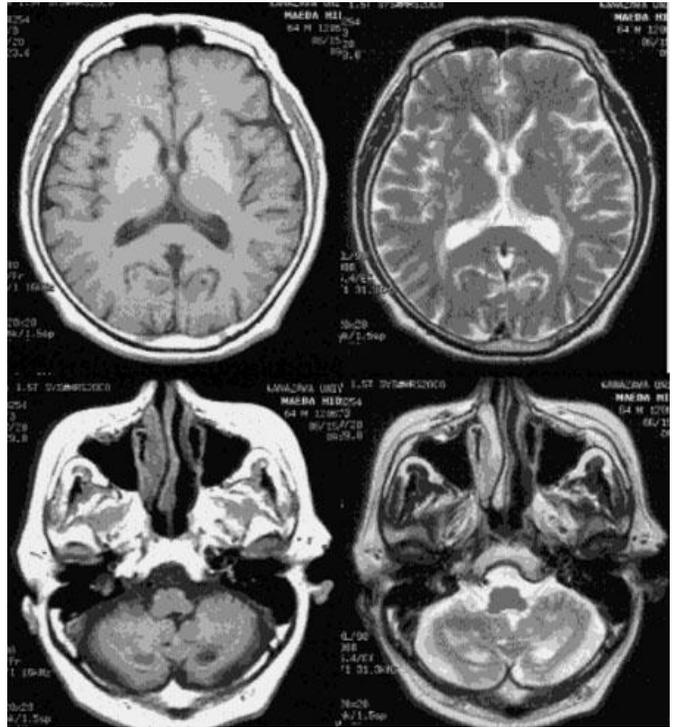
4. 脳画像の内容

MRI(脳構造画像)

◆通常の診療で撮像するMRIがこの脳構造画像にあたります。

◆磁気共鳴を利用して、脳の形を画像化することができます。

◆これは文字通り、脳の構造を見るためのもので、形や疾患部位を把握するために取ります。



DTI(拡散テンソル画像)

◆脳内には重要な脳組織を結ぶ線維連絡があります。

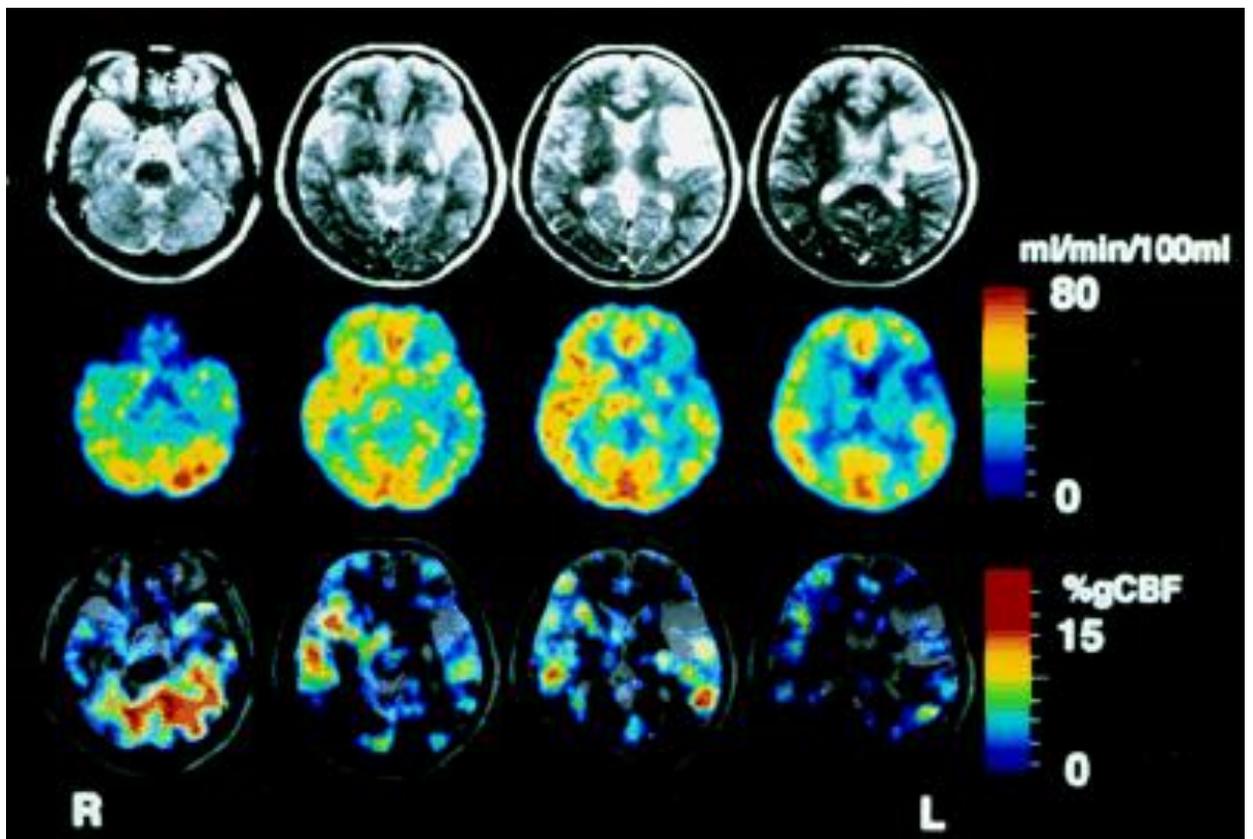
◆これを特殊なMRIの取り方をすることによって、その線維連絡を画像化することができます。

◆この検査により、頭蓋内病変と重要な脳内線維連絡の3次元的位置関係を把握することができます。

Resting fMRI

◆安静時の脳機能画像のことです。脳は、特別に何かをしているときでなくとも、絶えず働いています。たくさん働いている場所は、それだけ酸素を消費するので、血流が多くなります。

◆この検査では、その血流の変化を捉え画像化します。血流の変化をもとに、今活発に働いているところはどこか、休息できているところはどこかを把握することができます。



5. 登録される情報の使われ方

◆登録される情報は、匿名化されて統計処理をされたあとに、リハビリテーションの進展のための研究に用いられます。データ解析の結果得られた成果は、学会や論文、メディアなどを通じて発表されることがあります。

◆この際に用いられる情報は集計・分析後の統計情報のみとなりますので、患者様個人を特定可能な形でデータを公表することは一切ありません。情報の公開にあたっては、当院倫理審査委員会の承認を得ている情報のみが公開の対象となります。

❁ 今後のリハビリテーション医療の発展のため、なにとぞ趣旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。
尚、MRIの撮像は、当院より約200mのところにある同一法人の谷津保健病院にて施行いたします。

研究機関名および研究責任者氏名

東京湾岸リハビリテーション病院：医師 大高洋平
(株)国際電気通信基礎技術研究所：大須理英子・井澤淳

